

特集
学校
with
地域

～地域と育てる～



「地域と共に歩む学校づくり」。
未来を担う子どもたちの成長には、
学校、家庭、地域の連携が必要です。

地域の人材や環境を生かした授業を行う「特色ある学校・園づくり」は、
市立全ての小・中学校 47 校、幼稚園 1 園で行っている取り組みです。
子どもたちが直接、地域の方々とふれあいながら
自分の暮らす地域の特色を学ぶ。
この学びを通して、「ふるさと所沢」への愛着や
地域に貢献する気持ちが子どもたちに芽生えてきています。

市内に数少ない湿地を生かして米作り体験をする三ヶ島小学校と、
地域の方々との合同体育祭を行う柳瀬中学校。
この2校の取り組みのほか、各校の活動を通して、
地域の中で成長する子どもたちの姿をご紹介します。
☎学校教育課 ☎ 2998-9238



三ヶ島小学校

糎谷八幡湿地で米作り

毎年5年生が行う米作り体験。三ヶ島地区にある糎谷八幡湿地は、かつては荒れ放題の湿地でした。それを地元の有志である糎谷八幡湿地保存会が整備・管理し、今では自然のホタルが舞う三ヶ島地区ならではの自然環境になりました。

そんな地域独自の環境で、子どもたちは、保存会の皆さんから直接、八幡湿地の歴史や米作りを学びます。自分の手で土や稲に触れながら地域の方々と一緒に作業することで、地域を愛する心や身近な自然環境を守る意識を育てています。

米作りが始まる5月、泥に足を

取られながら植えた小さな苗。その苗が稲穂となり黄金色に輝く秋、慣れない鎌を使い一生懸命収穫する子どもたち。その傍らには、「大丈夫？ コツはこうだよ」と優しく教えてくれる地域の方々姿があります。

収穫したお米は、給食と収穫祭でいただきます。普段何気なく食べているお米が、地域の人と自然と触れ合うことで、格別なおいしさ変わっていくのです。

米作り以外にも、地域の方から所沢の特産物・サトイモや狭山茶の話などを聞くなど、さまざまな学習をしています。



① 5月 みんなで協力して一列ずつ苗を植えます
② 9月 たわわに実った稲穂を収穫！
③ 11月 育てたお米の一部（もち米）を使って収穫祭で餅つき

またやりたい！



みずむら ゆうた
三ヶ島小学校5年生 水村 優太くん

僕は、田植え体験を通して「協力」することの大切さを学びました。みんなで協力しないと田植えは完成しなかったからです。

初めての体験だったけど、糎谷八幡湿地保存会の方にコツを教えてもらうことで、楽しく作業できました。収穫が楽しみです！

八幡湿地は米作り体験ができるだけでなく、ホタルを観ることが出来る貴重な場所なので、これからも大切にしていきたいです！

泥だらけになって
田植えが楽しかったよ！

